

マルチアングルインジケータにおけるCCDセンサー使用上の注意

マルチアングルインジケータ（以下、MAI）は、感光体としてX線フィルム、イメージングプレート（以下、IP）以外にCCDセンサーを使用することもできます。

以下では、MAIでCCDセンサーを使用する上での注意点について説明します。

IPやX線フィルムを使用する場合や、MAI自体の使用方法は、弊社ホームページに掲載の動画をご覧ください。

CCDセンサーは、IPやX線フィルムよりも相当に厚みが大きく、MAIのクリップで保持させることができません。そこで面ファスナーを使用し、次ページの通りにCCDセンサーをMAIに取り付けて下さい。

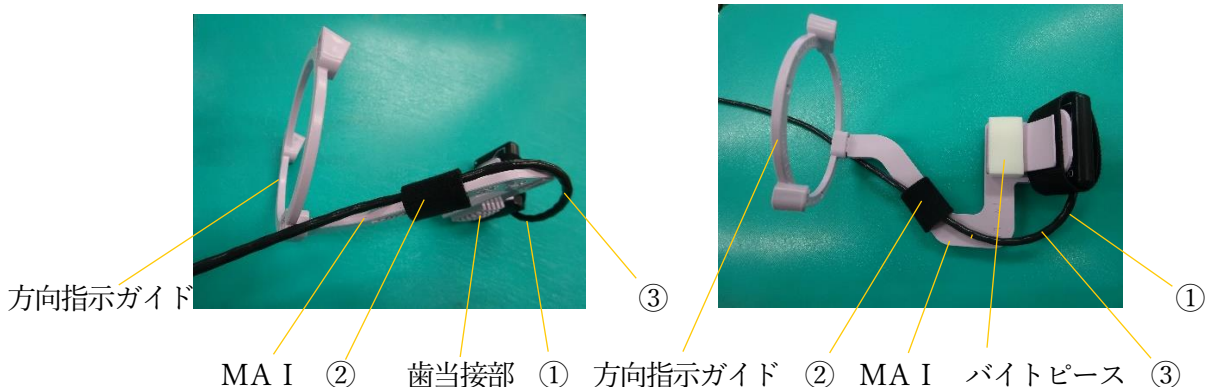
【ご注意！】

CCDセンサーのUSBケーブルは、歯の内側から外側に跨るので、断線を防止するために次の①～③にご留意の上、写真に示すようにCCDセンサーをMAIに取り付けて下さい。

- ① 基部が口内で圧迫されにくくなるように余裕を持たせます。（過度な押圧を回避）
- ② インジケータアームに沿わせて方向指示ガイド側に導き、別の面ファスナーで固定します。
- ③ 口内では、USBケーブルが噛まれることがないように歯当接部（バイトピースの裏側）を回避します。

CCDセンサー縦姿勢

CCDセンサー横姿勢

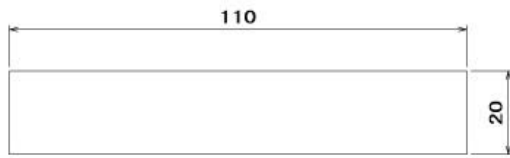


使用後のMAIは、オートクレーブで消毒して下さい。

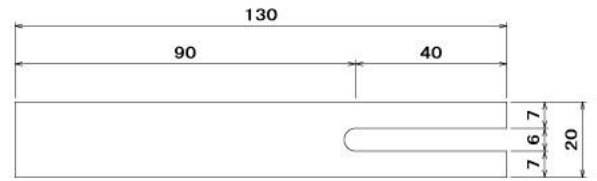
面ファスナーは、清潔なものをご使用下さい。

バイトピースと唾液感染防止袋は再利用せず、必ず交換して下さい。

面ファスナーの形状



センサー縦向き



センサー横向き

CCD センサーのMAI への取付け方法

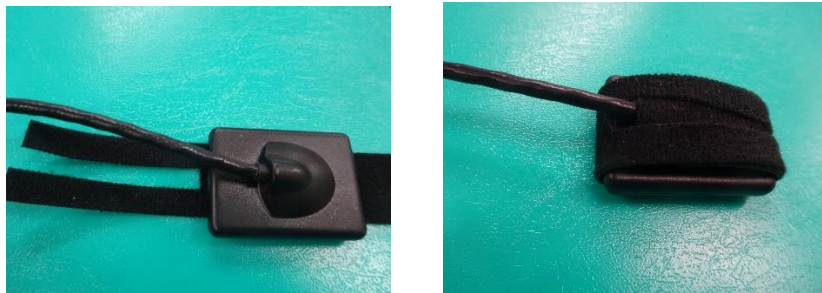
[縦向きで使用する場合]

面ファスナーを巻き付け、ケーブルが下に来るようにしてMAI に固定し、唾液感染予防袋を被せます。



[横向きで使用する場合]

ケーブルを2本脚の付け根に来る位置に合わせ、背面側で面ファスナーを貼り合わせます。



感光面と面ファスナーの間に MAI の背板を差し込み、唾液感染予防袋を被せます。



バイトピースと唾液感染防止袋は、再利用せず必ず交換して下さい。